

人と自然との調和

－和歌山独特の魅力－

張悦妍

教育学部交換留学生/中国

半年前にこの交換プログラムに参加していなかったら、いつこの美しい街を見る機会があったらどうかと何度も自分に感謝した。和歌山市に来て以来、紀伊半島の南西部にあるこの街が大好きになった。和歌山に住んでみると、私の故郷とは全く違う文化的な雰囲気や生活のペースを感じる事ができた。

ここの自然景観と文化的景観は互いに補い合い、美しい絵画を形成している。ここで最も目を引くのは、どこにでもある「静けさ」だ。

高くそびえる山々を見上げれば、幸せそうな小川を見下ろせば、風に揺れる田畑を見れば、和歌山の静けさを感じる事ができる。頂上で立ち止まって景色を眺めるたびに、街路樹や草木が私に微笑み返してくれるような気がする。あちこちにある神社もまた、和歌山に神秘的な雰囲気を与えている。ある日、一人で神社に参拝したことがある。心を込めて願い事をする、神様が私の思いに答えてくれたかのように、長い鈴の音が響いた。

和歌山の静けさは自然環境だけでなく人々の暮らしにも反映されている。繁栄と忙しさの中で生活している私の故郷の人々とは異なり、ここの人々の多くは自然や他者を尊重し、忙しい生活の中に自分なりのバランスと静けさを見つけ、平和で静かな生活を送っている。和歌山では時間が止まっているようだ。バスに乗って江戸時代初期に築かれた和歌山城の前を通り過ぎると、優しい老人の顔のシワのように高層ビルが静かに佇んでいた。

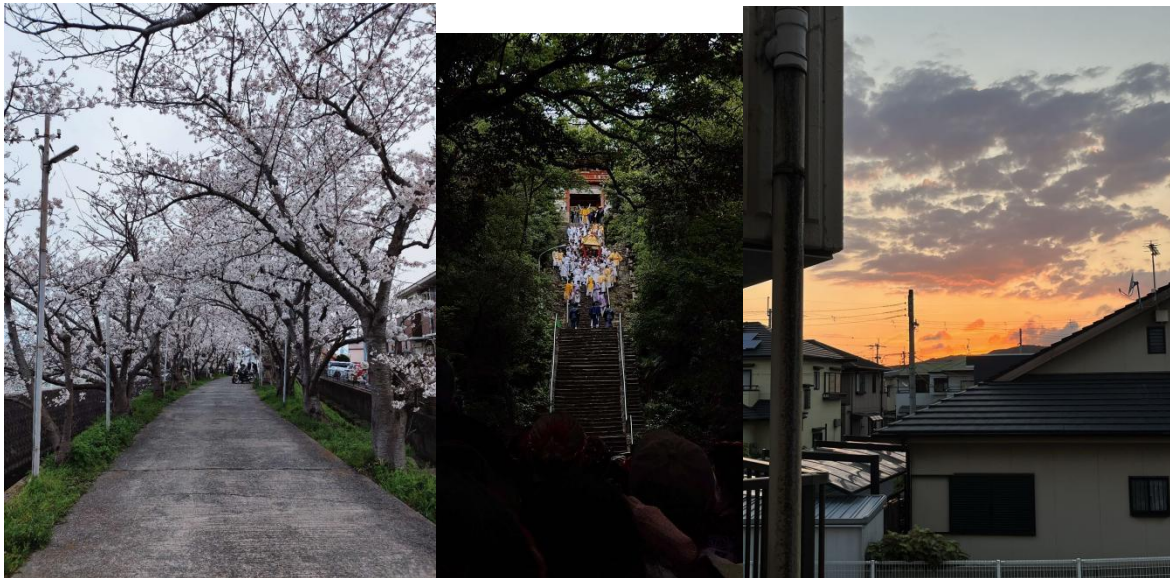
しかし、和歌山の静けさは決して消極的なものではなく、人々は人生に対して非常に前向きな態度である。大学に行く途中、私は、学校で面白いことについて話し合っている生徒のグループに出会ったり、週末にはスポーツウェアを着た子供たちが自転車に乗って体育館に向かう姿にも会ったり、夕方スーパーで食材を慎重に選んでいる高齢者の方々を見かけたり。和歌山大学のキャンパス内では、短い昼休みにも部活の学生による熱演が繰り広げられ、学生たちは足を止めて拍手を送る。この若々しいエネルギーが和歌山に活力を与える。

他の留学生と一緒に和歌祭に参加した経験は、一生の思い出になると思う。最初はとても緊張していたが、周りの日本人のクラスメートに励まされ、みんなでお神輿をあげたり、「ちょうさ」という掛け声を叫んだりするうちに、和歌山祭の楽しい雰囲気のにめり込んで行った。和歌山で生活している外国人の方にもお会いし、和歌山での生活についてお話を伺った。この日、肌の色も、民族も、国も違う人たちが一堂に会し、長い歴史を持つ日本の伝統的な祭りに参加したことは、和歌山の長い歴史だけでなく、和歌山の街の寛容さと愛情も感じさせてくれた。

和歌山の街は静かだが、その静けさは活動が止まっている静けさではない。街は静かだが活気と活力に満ちている。ここの住民は生活と自然を愛し、「静けさ」の意味を独自の方法で解釈している。ここでは、人間と自然、人間と社会、人間と自分自身の調和とバランスを感じる。

このような日は、私もゆっくりせずにはいられない。通学路では道端の花をよく観察し、気持ちよく晴れた午後には川辺で日光浴を楽しむ亀の親子を見かけ、雨の夜には土の匂いを嗅ぎ、毎晩で沈む夕日の形を楽しむ。同時に、私は自分が本当に成し遂げたいことは何なのか、自分の人生の道について考え始めた。有名な格言にあるように、人生には多忙ではなく、楽しむことも必要なのだ。この1年間の和歌山での交換留学で、日本語能力だけでなく、人生に対する判断力も向上したと思う。

和歌山の静かな美しさは、単なる自然景観の表現ではなく、人生に対する姿勢の反映でもある。ここで私は、自然と調和して生きる方法、他人とうまく関わる方法、そして自分自身が平和に生きる方法を学んだ。これらの貴重な経験と理解は、私の人生において忘れられない思い出となろう。1年間の交流期間はとても短く、私と和歌山が別れる日は必ず来る。しかし、私の努力によって、またこの街と出会える日が来ると信じている。



静谧之城

—探索和歌魅力—

张悦妍

教育学部交换留学生/中国

我曾无数次感谢半年前勇敢的自己，如果当时没有报名这次交换生项目，不知道何时我才有机会见到美丽的和歌山市。这座位于纪伊半岛西南部的城市在极短的时间之内用它独特的魅力吸引了我。在和歌山的生活让我感受到了截然不同的文化氛围和生活节奏。

这里的自然风光与人文景观交相辉映，构成了一幅幅美丽的画卷。而在这幅画卷中，最为引人注目的便是那无处不在的“静”。

和歌山的静体现在它优美的自然环境中，当你抬头仰望巍峨的高山时，当你低头注视欢快的水流时，当你看到风中摇曳的田野时，它们就静静地在那里感受着你的注视。每当我停下脚步欣赏这里的风景，街边的一草一木仿佛都在对我回以微笑。这里随处可见的神社也为和歌山增添了一丝神秘。我曾于某天独自一人到神社参拜，当我虔诚地许下自己的愿望，悠长的钟声好似神明在回应我心中所想。

和歌山的静不仅体现在自然环境中，更体现在人们的生活中。与我的家乡繁华与忙碌不同，这里的人们大都保持着一种平和、宁静的生活方式，他们尊重自然，尊重他人，在忙碌的生活中寻找着属于自己的平衡和宁静。时间似乎也不忍在这座安静的城市里留下印记。当我坐公交车经过有着一百多年历史的和歌山城时，高大的建筑静静的伫立在一片碧绿中，好像一位慈祥的老人用他脸上的皱纹向我诉说着他的人生。

但和歌山的静并非消极的，这里的人们对待生活有着非常认真的态度。上学路上我会遇到成群结伴的学生讨论着学校里的趣事一溜烟从我身边跑过，周末穿着运动服的孩子们骑着自行车三三两两的赶去体育馆，在傍晚我也会碰到白发苍苍的老人在超市认真地选购食材，会在夜晚碰到夜跑的市民。在校园里我常常见到学生在照顾小猫，在短暂的午间休息时间里也会有乐队充满活力的表演，路过的学生也纷纷驻足为他们送上掌声。

我相信和其他的留学生一起参加和歌祭的经历会让我终生难忘。一开始我非常紧张，但我身边的日本同学一直在鼓励我，随着大家一起举起神轿喊着加油的口号，我也融入进了和歌祭欢乐的气氛中。我还认识了在和歌山生活的外国人，他向我讲述了他在和歌山的生活。那一天，不同皮肤不同民族不同国家的我们汇聚在一起参加这个有着悠久历史的日本传统节日，不仅让我感受到了和歌山悠久的历史，也让我感受到了和歌山这座城市的包容与有爱。

和歌山市的“静”并不是一成不变的，而是充满了生机与活力。这里的市民热爱生活、热爱自然，他们用自己的方式诠释着“静”的内涵。在这里，我感受到了人与自然、人与社会、人与自我之间的和谐与平衡。

在这样的日子里，我忍不住也慢下了脚步。在上学路上我常常观察路边的花丛，在阳光惬意的午后我看到乌龟家族在河边享受阳光的沐浴，在下过雨的夜晚细嗅泥土的气息，在每个傍晚努力记住夕阳的形状。同时我也开始思考我真正想要实现的目标，我开始思考自己的人生规划，正如那句名言所说，人生不能总是在奔跑，有时也要停下来看看沿途的风景。

和歌山市的静谧之美，不仅仅是一种自然景观的呈现，更是一种生活态度的体现。在这里，我学会了如何与自然和谐相处、如何与他人友好交往、如何与自己和平共处。这些宝贵

的经历与体会，将成为我人生中难以忘怀的记忆。时间在一缕缕朝阳中悄悄溜走，但我知道我们还会再见。